

## 中学校 美術

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **2** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。



1 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）」に関する内容について、次の（1）～（6）の問いに答えよ。

（1）「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第1 目標」について、空欄【ア】【イ】に当てはまる内容の組合せとして、適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、【ア】を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる【イ】を次のとおり育成することを旨とする。

【ア】

- 1 造形的な視点
- 2 造形的な見方・考え方
- 3 見方や感じ方
- 4 創造力

【イ】

- 見方や感じ方
- 資質・能力
- 造形的な視点
- 態度

（2）「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第1 目標（1）～（3）」について、適切でないものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- 2 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- 3 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ることができるようにする。
- 4 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

- (3)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕  
2 内容 A 表現 (1) ア (ア)」の内容として適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。
- 2 構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。
- 3 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。
- 4 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。

- (4)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕  
2 内容 B 鑑賞 (1) イ (イ)」の内容として適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 2 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 3 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 4 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

- (5) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 2 内容 及び 3 内容の取扱い (3)」について、空欄【 】の内容として、適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

「B鑑賞」のイの(イ)の指導に当たっては、【 】感じ取ることができるよう配慮すること。

- 1 創造することの価値を捉え、自己や他者の作品などに表れている創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、文化遺産の価値などを
- 2 日本及び諸外国の作品の独特な表現形式、漫画やイラストレーション、図などの多様な表現方法を活用し、その良さや美しさを
- 3 日本の美術の概括的な変遷などを捉えることを通して、各時代における作品の特質、人々の感じ方や考え方、願いなどを
- 4 美術の表現の可能性を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの積極的な活用を図るようにし、その美術文化としての価値を

- (6) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 2 内容 及び 3 内容の取扱い」について、空欄【ア】～【エ】に当てはまる内容の組合せとして、適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

〔【ア】〕

- (1) 【イ】の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。  
 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

3 内容の取扱い

- (1) 第1学年では、内容に示す各事項の定着を図ることを基本とし、一年間で全ての内容が学習できるように一題材に充てる時間数などについて十分検討すること。  
 (2) 【イ】の指導に当たっては、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、〔【ア】〕に示す事項を視点に、【ウ】で構想を練ったり、言葉で考えを整理したりすることや、作品などについて説明し合うなどして対象の見方や感じ方を広げるなどの【エ】を図ること。

	【ア】	【イ】	【ウ】	【エ】
1 共通事項	「A表現」及び「B鑑賞」	「A表現」及び「B鑑賞」	アイデアスケッチ	言語活動の充実
2 共通事項	「B鑑賞」	「B鑑賞」	エスキース	感受性の伸長
3 指導項目	「A表現」	「A表現」	レンダリング	表現の充実
4 共通項目	「A表現」及び「B鑑賞」	「A表現」及び「B鑑賞」	エスキース	言語活動の充実

2 次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) ア～エの各作品の作者として、適切な組合せを1～4から一つ選べ。解答番号は 7

ア

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「ピアノの前の少女たち」  
ルノアール作  
オルセー美術館蔵

イ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「春」  
ボッティチェッリ作  
ウフィツィ美術館蔵

ウ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「最後の晩餐」  
ダ・ヴィンチ作  
サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ修道院蔵

エ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「女官たち」  
ベラスケス作  
プラド美術館蔵

	ア	イ	ウ	エ
1	ルノアール	ボッティチェッリ	ミケランジェロ	ドラクロア
2	セザンヌ	カラヴァッジョ	ダ・ヴィンチ	ドラクロア
3	ルノアール	ボッティチェッリ	ダ・ヴィンチ	ベラスケス
4	セザンヌ	カラヴァッジョ	ミケランジェロ	ベラスケス

(2) ア～エの各作品の中で、印象派の絵画として適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

1 ア      2 イ      3 ウ      4 エ

(3) ア～エの各作品の中で、作者本人の姿が描かれている絵画として、適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

1 ア      2 イ      3 ウ      4 エ

(4) ア～エの各作品の中で、テンペラ画の組合せとして適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

1 アとウ      2 イとウ      3 アとエ      4 イとエ

(5) ウの作品で、作者が意図して用いた技法として、適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

1 等角投影法      2 一点透視図法      3 メルカトル図法      4 三点透視図法

3 次の作品A・B・Cに関して、次の(1)～(7)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「太陽の塔」  
岡本太郎作  
大阪府

作品A

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

「明日の神話」  
岡本太郎作  
川崎市岡本太郎美術館蔵

作品B

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

「ゲルニカ」  
ピカソ作  
ソフィア王妃芸術センター蔵

作品C

- (1) 作品A・Bは同一人物の作品である。作者名を答えよ。
- (2) 作品A・Bの作品名をそれぞれ答えよ。
- (3) 作品A・Cは、下のア～オのうちいずれかのイベント開催の際に制作された作品である。適切なものをそれぞれ答えよ。
- ア 日本万国博覧会                      イ 東京オリンピック                      ウ ベルリンオリンピック  
エ 国際科学技術博覧会                      オ パリ万国博覧会
- (4) 作品Bについて、どのように生徒に説明するか。その内容を時代背景に触れながら簡潔に述べよ。
- (5) 作品Cの作者名と作品名を答えよ。
- (6) 20世紀初めに、作品Cの作者らがフランスを中心に興した美術運動の名称は何か。また、その美術運動の内容について簡潔に述べよ。
- (7) 作品Cについて、どのように生徒に説明するか。その内容を時代背景に触れながら簡潔に述べよ。



4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容」について、「A 表現（1）ア（ア）」と「B 鑑賞（1）ア（ア）」の事項を身に付けるための8時間の指導計画を作成する。（1）～（4）の問いに答えよ。

（1）題材名を次のように設定した。生徒の姿を想像し、どのような力を身に付けさせたいかを考え「題材の目標」を記せ。

題材名 絵画 「ありえない世界」

（2）（1）の題材の評価規準を作成する。評価の4つの観点及びそれぞれの評価規準を記せ。

（3）これまでの内容をふまえた指導と評価の計画を次のように作成する。生徒が題材に魅力を感じ、主体的に発想し主題を生成できるような、①における第1時～2時の学習のねらいおよび学習活動を解答用紙に記せ。なお、第3時～7時の学習活動および内容とのつながりも重視すること。「○」は、学習のねらい「・」は、学習活動として記せ。

時	学習のねらいおよび学習活動 「○」は、学習のねらい「・」は、学習活動として記せ。	
第1時 ～2時	課題の 把握と 発想・ 構想	①
第3時 ～7時	制作	○構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・①の内容をもとに、制作をする。制作途中で鑑賞の時間を設け、構想を実現するための材料や用具を用いて制作をする。 ○表現を深める ・発想をさらに豊かなものにし、表現方法を工夫して制作をする。
第8時	鑑賞	○作品鑑賞 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取る。

（4）①の活動中における生徒の状況をA：「十分満足できる」 B：「おおむね満足できる」 C：「努力を要する」を評価指標としたとき、Cの状況と判断した生徒の具体的な状況と、その生徒への指導の手立てを記せ。

